

にちえい エコレポート

2016

平成28年 5月発行 発行：日栄産業株式会社 / 〒143-0003 東京都大田区京浜島3-5-2

ごあいさつ

平素は当社に対し、ご理解とご協力を賜わり、有難うございます。

当社はコンクリートガラを再生砕石にする中間処理と、所有する積替え保管用の大型倉庫及び1500t積クラスの貨物船が接岸できる占有棧橋を使用して汚染土壌、産業廃棄物等の海上輸送を行っています。

また、ここは東京港における民間初の資源循環型複合基地・リサイクルポートであります。

以下に昨年度当社業務について、環境マネジメントシステムISO14001を運用した内容を中心に報告いたします。

これからも、当社はお客様や地域の皆様に信頼される会社を目指して参りますので、変わらぬお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 吉本 花子



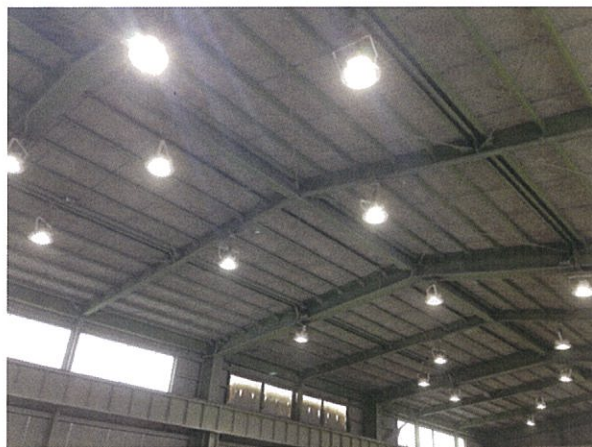
環境マネジメントシステム ISO14001 の運用

当社はこれまで下記の取り組みをしてきました。

- 環境負荷の低減(燃費の向上・節電・節水)
- デジタコ運用管理システムの更新によるダンプカーの安全運転 及びエコドライブの向上
- 海上輸送比率のアップ(モーダルシフトによるCO2削減)
- ロードスイーパー・散水車による当社周辺の道路清掃
- 社員による近隣地域の清掃
- 水銀灯、蛍光灯をLED照明に変更
- コンクリートガラ受入時における不純物のチェック
- アスベストの混入防止対策の強化・搬入チェック対策の強化・大気測定実施
- 粉じん等の環境測定、従業員教育の実施
- 敷地内の放射線量の測定・調査

これからも近隣のみなさまにご理解とご協力をいただけるよう取り組んでまいります。

工場内水銀灯のLED照明化



ISO環境マネジメントシステム (ISO14001)

・登録日：2006年1月28日 ・第3回更新日：2015年1月28日

東京都優良性基準適合認定

産廃エキスパート〔中間処理・収集運搬(積替え保管を含む)〕

第3回更新

有効期間 平成27年4月1日から平成30年3月31日まで

平成27年度の業務について



平成27年度(平成27年4月～平成28年3月)は、約22万9,941 tのがれき類(コンクリート塊)を受け入れるとともに、約22万9,405 tを再生砕石としました。

またリサイクル率を示す“再資源化率”は昨年度(平成26年度)とほぼ同じ99.93%となりました。

今後とも、再資源化率の向上に取り組んでまいります。

なお製品化された再生砕石は、ダンプカーによる陸上輸送のほか、工場内の棧橋から伊豆諸島や館山のほか、気仙沼等東北方面などへ向けて船舶による海上輸送を行っており(モーダルシフト)広域輸送による環境負荷の削減にもお役立ていただいています。

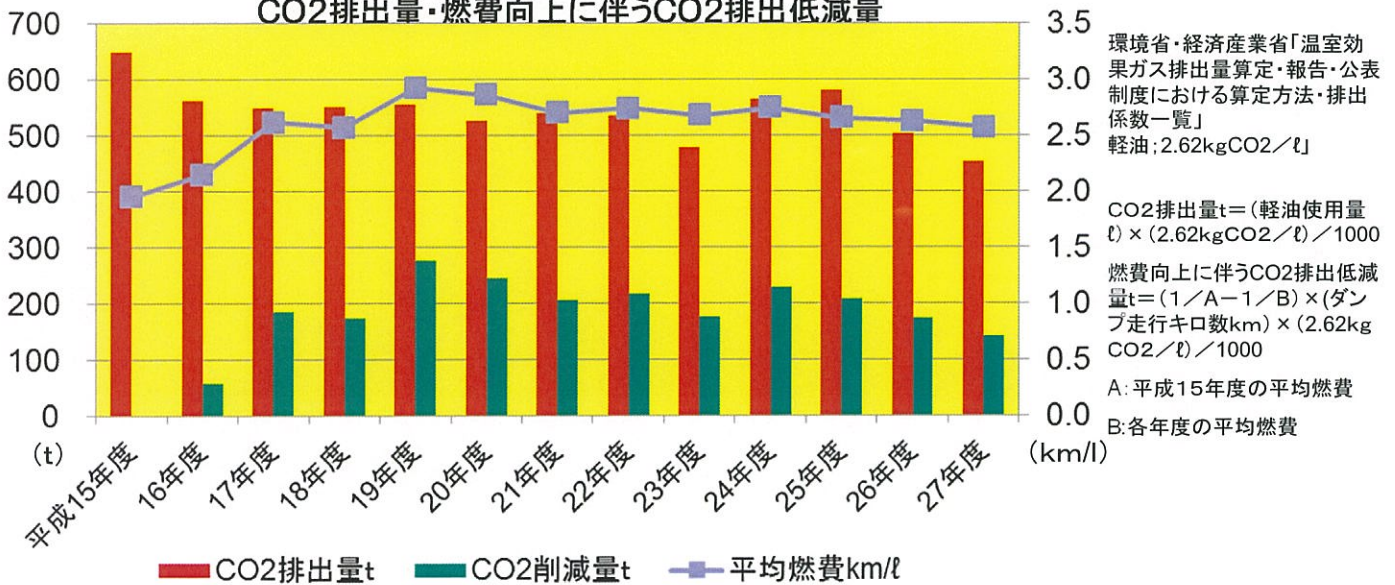
受け入れた がれきの量	22万9,941 t
再生砕石とした量	22万9,405 t
鉄くず	821 t
廃プラスチック類	154 t

再資源化率 **99.93%**

※平成26年度 99.95%

当社が管理するダンプの

CO2排出量・燃費向上に伴うCO2排出低減量



環境省・経済産業省「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」
軽油; 2.62kgCO₂/ℓ

CO₂排出量t = (軽油使用量ℓ) × (2.62kgCO₂/ℓ) / 1000

燃費向上に伴うCO₂排出低減量t = (1/A - 1/B) × (ダンプ走行キロ数km) × (2.62kgCO₂/ℓ) / 1000

A: 平成15年度の平均燃費

B: 各年度の平均燃費

(km/l)

■ CO2排出量t ■ CO2削減量t ◆ 平均燃費km/l



平成27年7月22日～7月24日、東京都立農産高校の清水史子先生が、東京都教職員研修センターの平成27年度職員の民間企業派遣研修としていらっしゃいました。

当社のリサイクルポート、資源循環の陸送・保管・海上輸送の一貫システムの現状を見て頂きました。

見学は、事前にご連絡いただければ随時お受けしておりますので、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ・ご意見はこちらまで・・・

電話 03(3790)7400

FAX 03(3790)7401

<http://nichiei-sangyo.jp/>

